

事例候補の収集方法について

- 事例候補の収集は、以下の2つのチャンネルを通じて行う。
 - I WGの各構成員が、それぞれの知見・ネットワークを活用して収集
 - II 総務省及び自治体国際協会から地方自治体・地域国際化協会に広く事例候補を募集

- 上記Iについては、WGの各構成員が事例候補を収集し、構成員から直接、あるいは総務省・自治体国際協会を通じて、当該事例の担当者へ取組の概要の記載を依頼（記載フォーマットはIIと共通のものを使用）

- 上記IIについては、次のとおり事例候補を募集（自薦・他薦）。

募集方法

- ① 総務省から、地方自治体に対して募集（集住都市会議・多文化共生推進協議会にも依頼）
- ② 自治体国際協会から、地域国際化協会及びクレア多文化共生アドバイザーに対して募集

募集・〆切の時期

- 4月頭に募集開始（依頼文を発出） ⇒ 5月初旬〆切（他薦）
6月初旬〆切（自薦）

記入項目

- 取組の名称、取組の分野、取組の背景、取組の内容と工夫した点、取組の成果 など
- ※ 募集に用いる様式（質問票）は別紙のとおり
 - ※ 場合によっては詳細について追加で照会する可能性がある旨を付記
 - ※ 他薦の場合は、分かる範囲で記入することとし、その後、総務省・自治体国際協会から詳細を照会

記入者氏名	
団体名・役職	
メールアドレス	
電話番号	

1. 取組の名称について教えてください。

--

2. どの分野に関する取組ですか。回答欄に①～⑪を記入して下さい（複数可）。①～⑪のいずれにも該当しない場合は、分野名を記載して下さい（自由記載）。

- ① 地域における情報の多言語化
- ② 日本語及び日本社会に関する学習の支援
- ③ 居住
- ④ 教育
- ⑤ 労働環境
- ⑥ 医療・保健・福祉
- ⑦ 防災
- ⑧ 地域社会に対する意識啓発
- ⑨ 外国人住民の自立と社会参画
- ⑩ 産業振興
- ⑪ 都市のグローバル化・地域振興

回答欄（ ）
いずれにも該当しない場合は自由記載（ ）

※ 上記①～⑨は「地域における多文化共生推進プラン」において示された分野です。http://www.soumu.go.jp/main_content/000400764.pdf

3. 取組に関する予算がある場合は、その額及び主な使途（会場費、委託費、印刷費など）について記載して下さい。

予算額	主な使途
円	

4. 取組がマスコミなどに取り上げられた、又は過去に表彰を受けたなどの事情がある場合は、その概要について記載して下さい。

※ 記事や表彰の関連資料がある場合は、本調査票にあわせてお送りいただければ幸いです。

--

※記載欄は適宜拡大して記入して下さい。

5. 取組に関するHPやその他ウェブサイトがあれば、URLを記載して下さい。（複数可）

6. 取組の内容について記載して下さい。

(1) 取組を実施するに至った背景・理由（地域で生じていた課題）など

(2) 取組の具体的な内容、特徴や工夫した点

※ 他の団体や企業などと連携して取組を行っている場合は、当該連携団体・企業の名称、連携の内容・役割分担について記載して下さい。

(3) 取組を行った成果・変化

※ 取組の対象者や参加者からの評価や、客観的な指標・数値がありましたら積極的に記載して下さい。

※ 取組の今後の方向性等がありましたら、併せて記載して下さい。

※記載欄は適宜拡大して記入して下さい。

【様式2：他薦の場合】

記入者氏名	
団体名・役職	
メールアドレス	
電話番号	

※ 以下の質問には、分かる範囲でお答えいただければ結構です。他薦の場合は、ご応募いただいた後、取組を行っている個人・団体に対し総務省から直接連絡し、取組の詳細について伺う予定です。

1. 取組を行っている個人・団体の名称、及び取組の名称について教えてください。

個人・団体の名称	
取組の名称	

2. 取組の具体的な内容、及び当該取組がどのような点で参考になり、又は特徴的と思われるかについて記載してください。

3. 当該取組をどのようにして知りましたか。

※ 新聞・雑誌・インターネット等の公開情報を通じて知った場合は、当該公開情報について教えてください。関連資料（新聞・雑誌の記事等）があれば、本調査票に合わせてお送り下さい。

4. 取組に関するHPやその他ウェブサイトがあれば、URLを記載して下さい。（複数可）
